

令和 7年12月5日

各 位

外国投資法人名	ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代表者	ヴィノット・ラジブット
管理会社名	ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
(管理会社コード 16724)	
代表者	ヴィノット・ラジブート
問合せ先	TMI総合法律事務所
担当者	中川秀宣
(TEL 03-6438-5660)	

上場ETF(管理会社:WisdomTree、外国投資法人:CSL)に関する日々の開示事項

ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド(WisdomTree)を管理会社に、
 ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド(CSL)を外国投資法人として上場する
 以下のETF銘柄について、令和 7年12月4日現在の状況をご報告します。

上場ETF 銘柄(14銘柄)

掲載番号	銘柄名	銘柄コード	上場取引所
1	WisdomTree ブロード上場投資信託(商品ETF)	1684	東
2	WisdomTree エネルギー上場投資信託(エナジーETF)	1685	東
3	WisdomTree 産業用金属上場投資信託(メタルETF)	1686	東
4	WisdomTree 農産物上場投資信託(アグリETF)	1687	東
5	WisdomTree 穀物上場投資信託(穀物ETF)	1688	東
6	WisdomTree 天然ガス上場投資信託(ガスETF)	1689	東
7	WisdomTree WTI 原油上場投資信託(原油ETF)	1690	東
8	WisdomTree ガソリン上場投資信託(ガソリンETF)	1691	東
9	WisdomTree アルミニウム上場投資信託(アルミETF)	1692	東
10	WisdomTree 銅上場投資信託(銅ETF)	1693	東
11	WisdomTree ニッケル上場投資信託(ニッケルETF)	1694	東
12	WisdomTree 小麦上場投資信託(小麦ETF)	1695	東
13	WisdomTree ドラゴンコし上場投資信託(コーンETF)	1696	東
14	WisdomTree 大豆上場投資信託(大豆ETF)	1697	東

*各銘柄の状況につきましては、次のページ以降をご参照ください。なお、各銘柄名をクリックしていただくと、各銘柄の状況が表示されます。

以上

[掲載番号1]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代表者	ヴィノンド・ラジプート
管理会社名	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
(銘柄コード 1684)	
代表者	ヴィノンド・ラジプート
問合せ先	TMI総合法律事務所
担当者	中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree ブロード上場投資信託(商品ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

7,166,582 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

14,263,037,723 円 (91,948,412.35 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

1,990 円 (12.83 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

0.00%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の} \quad \times 100 (\%)}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が「その他の要因は考慮しないもの」とします。」「逆輸送(バックワードインボン: backwardation)」: 期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。」である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(コンタング: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなります。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及ぶ、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものであります。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していく従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号2]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代表者	ヴィノッド・ラジプート
管理会社名	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
(銘柄コード 1685)	
代表者	ヴィノッド・ラジプート
問合せ先	TMI総合法律事務所
担当者	中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree エネルギー上場投資信託(エナジーETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

12,333,830 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

6,677,674,205 円 (43,048,441.24 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

541 円 (3.49 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)-0.07%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

$$\left(\frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月版の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約の差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約における市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆戻(バックワード・ディジョン:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆戻の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆戻は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順戻(コンタゴ:contango)」市場で取引されてきたものもあります。順戻市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順戻が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなります。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆戻又は順戻を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆戻及び/又は順戻がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順戻(又は逆戻)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線」とは異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆戻となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順戻の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号3]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代表者	ヴィノンド・ラジプート
管理会社名	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
(銘柄コード 1686)	
代表者	ヴィノンド・ラジプート
問合せ先	TMI総合法律事務所
担当者	中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree 産業用金属上場投資信託(メタルETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

38,097,454 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

100,119,772,630 円 (645,434,325.88 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

2,628 円 (16.94 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

0.03%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換(rolling)」と呼ばれます。单一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換(ロール・收益率: roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワード・アーティジョン: backwardation)」期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換(ロール・收益率)」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(コンタング: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換(ロール・收益率)」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換(ロール・收益率)」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換(ロール・收益率)が存在することによって、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したもので、商品先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したもので、商品先物曲線の形状に依存しています。

商品先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したもので、商品先物曲線の形状に依存しています。

[掲載番号4]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド
代表者	ヴィノッド・ラジプート
管理会社名	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
(銘柄コード 1687)	
代表者	ヴィノッド・ラジプート
問合せ先	TMI総合法律事務所
担当者	中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree 農産物上場投資信託(アグリETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

25,740,228 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

24,586,674,865 円 (158,500,998.36 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

955 円 (6.16 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

0.05%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月版の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約の差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約における市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワード・ディジョン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の面倒に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び/又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線」とは異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号5]

令和7年12月5日

各 位

外国投資法人名 代表者	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
管理会社名 (銘柄コード 1688) 代表者	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
問合せ先 担当者	TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree 穀物上場投資信託(穀物ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

4,758,802 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

2,526,794,705 円 (16,289,290.26 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

531 円 (3.42 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標構成する取引上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワード・ディジョン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスになります。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、单一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び/又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号6]

令和7年12月5日

各 位

外国投資法人名 代表者	ワイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジポート
管理会社名 (銘柄コード 1689)	ワイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
代表者 問合せ先 担当者	ヴィノッド・ラジポート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree 天然ガス上場投資信託(ガスETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

15,877,772 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

19,142,482,438 円 (123,404,347.85 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指数の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

1,205.62 円 (7.77 米ドル)

注:当面、小数点以下2桁目まで表示しております。

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の} \\ \text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値} \\ \text{前営業日の上場ETFの} \quad - \quad \text{前営業日の} \\ \text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の} \quad \text{前営業日の} \\ \text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から償付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もともと期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が「その他の要因は考慮しないもの」とします。「逆輸送(バックワード・ディジョン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなります。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響があり、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているもののとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指數に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に關し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していくに従って、関連する指數は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

以上

[掲載番号7]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1690)	ヴィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ヴィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
代表者 問合せ先 担当者	ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree WTI 原油上場投資信託(原油ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

61,401,872 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

86,974,775,214 円 (560,693,496.74 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数

が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして

計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)

現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

1,416 円 (9.13 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

$$\left(\frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約における市場が(その他の要因は考慮しないものとします。「逆耕(バックワード・ディジョン:backwardation)」)期先の満期の先物契約の価格の方が期近の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆耕の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆耕は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順耕(コンタング:contango)」市場で取引されてきたのもあります。順耕市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆耕が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の面倒に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆耕又は順耕を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆耕及び/又は順耕がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順耕(又は逆耕)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆耕となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順耕の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号8]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名 代表者	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
管理会社名 (銘柄コード 1691) 代表者	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
問合せ先 担当者	TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree ガソリン上場投資信託(ガソリンETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

97,672 口

2. 上場ETFの資産総額（令和7年12月5日午前0時（ロンドン時間2025年12月4日午後4時）現在）

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

795,277,653 円 (5,126,854.39 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指数の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

8,142 円 (52.49 米ドル)

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え（rolling）」と呼ばれます。單一商品指数構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替わることになります。もともと期初の先物契約との差額は、買換えに伴う収益(roi yield)と呼ばれ、これは利益となることもあるが、あるいは損失となることもあります。この先物契約による市場が(その他の要因は考慮しないものとします)「逆輸入(バックワード・ショーケン、backwardation)」1期先の満期の先物契約の価格の方が期初の先物契約の価格に比べて低い状態

更に、商品指數に反映されている一定の商品には、過去に「原物（カントン：contango）」市場で取引されてきたものもある。順差市場とは、先物契約の価格が現物の価格よりも高い状態で取引される場合である。原物は、現物の供給量が需要量を超過する状況で、供給過剰によって現物の価格が下落する傾向がある。一方で、先物契約の価格は、現物の価格よりも高くなる場合がある。この場合、先物契約の価格が現物の価格よりも高い状態で取引される場合を「原物」と呼ぶ。原物は、現物の供給量が需要量を超過する状況で、供給過剰によって現物の価格が下落する傾向がある。一方で、先物契約の価格は、現物の価格よりも高くなる場合がある。この場合、先物契約の価格が現物の価格よりも高い状態で取引される場合を「原物」と呼ぶ。

更に、商品指標に反映されている「先物市場」には、過去に「順延(ランバウ)」と「市場で取引される」としてのものがあります。順延市場とは、元物交換によって得られる収益が期限月のよりも、先物期限月のものが高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆行者が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスになります。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響があり、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる現在の逆行者は順延を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆行及び又は順延がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順延(又は逆行)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、商品先物曲線の形態によって依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関する価格間隔の相関関係をグラフで表したものです。商品先物曲線の関連する部分が逆張りとなっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっている(右上がりの先物曲線)に押し付けて開示する指標は上昇する傾向があります。順延の場合には、反対の結果が生じます。

1

[掲載番号9]

令和7年12月5日

各 位

外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1692)	ワイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ワイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
代表者 問合せ先 担当者	ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree アルミニウム上場投資信託(アルミETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

12,341,994 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

7,279,524,517 円 (46,928,342.69 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

590 円 (3.80 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指数は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指数を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆耕(バックワードレーション: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指数に含まれている先物契約の中には、過去に逆耕の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆耕は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指数に反映されている一定の商品には、過去に、「順耕(コンタング: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順耕市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順耕が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指数及び単一商品指数の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指数上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指数における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指数において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆耕又は順耕を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆耕及び/又は順耕がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順耕(又は逆耕)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関して、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順耕の場合には、反対の結果が生じます。

[掲載番号10]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1693) 代表者 問合せ先 担当者	ウィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ウィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)
---	---

WisdomTree 銅上場投資信託(銅ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

31,384,346 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

228,062,019,569 円 (1,470,229,625.90 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数

が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

7,267 円 (46.85 米ドル)

4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの一口あたりの資産額}}{\text{前営業日の上場ETFの一口あたりの資産額}} - \frac{\text{特定の指標の終値}}{\text{前営業日の特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸送(バックワードエイシジョン:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸送の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸送は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸送が存在しないとの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸送又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸送及び又は順輸送がたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸送)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆輸送となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっているスポット價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

以 上

[掲載番号11]

令和7年12月5日

各 位

外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1694)	ヴィズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ヴィズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
代表者 問合せ先 担当者	ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree ニッケル上場投資信託(ニッケルETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

7,734,666 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

15,789,847,255 円 (101,791,176.22 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

2,041 円 (13.16 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。单一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もつとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします)、「逆鞘(バックワードインボーン:backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆鞘の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆鞘は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順鞘(コンタング:contango)」市場で取引されてきたものもあります。順鞘市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆鞘が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆鞘又は順鞘を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆鞘及び又は順鞘がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順鞘(又は逆鞘)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の形状に依存しています。

以上

[掲載番号12]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名 代表者 管理会社名 (銘柄コード 1695)	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド
代表者 問合せ先 担当者	ヴィノッド・ラジプート TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree 小麦上場投資信託(小麦ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

5,347,680 口

2. 上場ETFの資産総額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

15,036,734,409 円 (96,936,142.40 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追随する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

2,812 円 (18.13 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left(\frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right) \times 100 (\%)$$

$$\left(\frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right) \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もっとも期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆戻(バックワードペニコン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆戻の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆戻は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順戻(コンタング: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順戻市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において順戻が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。そのため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆戻又は順戻を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆戻及び/又は順戻がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順戻(又は逆戻)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものといいます。商品先物曲線の関連する部分が逆戻となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物價格が相対的に高くなっている先物價格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順戻の場合には、反対の結果が生じます。

以上

[掲載番号13]

令和 7年 12月 5日

各 位

外国投資法人名 代表者	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
管理会社名 (銘柄コード 1696) 代表者	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
問合せ先 担当者	TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree とうもろこし上場投資信託(コーンETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数 (令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

1,017,903 口

2. 上場ETFの資産総額 (令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

3,017,023,183 円 (19,449,607.94 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額 (令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和 7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

2,964 円 (19.11 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和 7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left\{ \frac{\text{上場ETFの} - \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{終値}} \right. - \left. \frac{\text{前営業日の上場ETFの} - \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} - \text{特定の指標の終値}} \right\} \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から値付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標を構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買い付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられます。もともと期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないものとします。)「逆輸入(バックワード・ディジョン: backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の満期の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆輸入の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆輸入は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順輸送(contango)」市場で取引されてきたものもあります。順輸送市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆輸入が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、單一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆輸入又は順輸送を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆輸入及び又は順輸送がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順輸送(又は逆輸入)が存在することによつて、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものであります。商品先物曲線の関連する部分が逆輸入となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっているスポット価格に収束していくに従って、関連する指標は上昇する傾向があります。順輸送の場合には、反対の結果が生じます。

以上

[掲載番号14]

令和7年12月5日

各 位

外国投資法人名 代表者	ウイズダムツリー・コモディティ・セキュリティーズ・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
管理会社名 (銘柄コード 1697) 代表者	ウイズダムツリー・マネジメント・ジャージー・リミテッド ヴィノッド・ラジプート
問合せ先 担当者	TMI総合法律事務所 中川秀宣 (TEL 03-6438-5660)

WisdomTree 大豆上場投資信託(大豆ETF)に関する日々の開示事項

1. 上場ETFの口数(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

601,586 口

2. 上場ETFの資産総額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETFの資産総額は、上場ETFの口数に上場ETFの一口あたりの資産額を乗じて計算しています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

2,576,677,888 円 (16,610,868.28 米ドル)

3. 上場ETFの一口あたりの資産額(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)

(上場ETF一口当たりの資産額は、ロンドンの当日午後4時にロンドン証券取引所での取引が終了した後、指数が追隨する米国先物市場終了後に確定される指標の値を用いて、ロンドン時間同日午後4時現在のものとして計算されています。日本円への換算は、令和7年12月5日午前6時(ニューヨーク時間2025年12月4日午後5時)現在のブルームバーグによる為替レート(1米ドル=155.12円)により計算しています。)

4,283 円 (27.61 米ドル)4. 上場ETFの一口あたりの資産額の日々の価格の変動幅と特定の指標の終値の日々の変動幅の乖離率
(令和7年12月5日午前0時(ロンドン時間2025年12月4日午後4時)現在)0.02%

(参考) 乖離率の計算式

$$\left\{ \frac{\text{上場ETFの} \quad \text{特定の指標の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{終値}} - \frac{\text{前営業日の上場ETFの} \quad \text{前営業日の}}{\text{一口あたりの資産額} \quad \text{特定の指標の終値}} \right\} \times 100 (\%)$$

5. ロールオーバー時の損益について

各々の単一商品指標は、特定の満期の先物契約から償付けされますが、当該先物契約は、満期が近付くと、期先の先物契約に「乗り換える」必要が生じ、このプロセスは「乗換え(rolling)」と呼ばれます。単一商品指標は構成する取引所上場先物契約は、その満期が近付くと、満期前に期先の満期の同様の先物契約に入れ替えられます。従って、例えば、8月に買付けられ、保有されている先物契約が10月に満期となる場合があります。

時間が経過するにつれ、10月に満期を迎える先物契約は、11月限の先物契約に入れ替えられることになります。もともと期近の先物契約とともに期先の先物契約との差額は、「乗換えに伴う収益(roll yield)」と呼ばれ、これは利益となることもあります。この先物契約にかかる市場が(その他の要因は考慮しないもの)です。「逆戻(バックワード・ペイション・backwardation)」(期先の満期の先物契約の価格の方が期近の先物契約の価格に比べて低いことを意味します。)である場合には、10月限先物契約の売却が、11月限先物契約よりも高い価格で行われ、「乗換えに伴う収益」が発生します。商品指標に含まれている先物契約の中には、過去に逆戻の期間が持続することを示しているものもある一方で、逆戻は常に存在している訳ではありません。

更に、商品指標に反映されている一定の商品には、過去に、「順轉(コンタング: contango)」市場で取引されてきたものもあります。順轉市場とは、先物契約の価格が期近限月のものよりも、期先限月のものの方が高くなっている市場のことです。特定の商品市場において逆戻が存在しないことの結果として、「乗換えに伴う収益」がマイナスとなり得ます。このため、商品指標及び単一商品指標の価値に悪影響が及び、その結果として、マイクロ上場投資信託、単一マイクロ上場投資信託、商品上場投資信託及び商品指標上場投資信託の価値が下落するおそれがあります。更に、これにより、商品指標における期近先物契約及び次期近先物契約はブルームバーグ商品3ヶ月先物指標において用いられているものとは異なるため、先物曲線の関連する部分が異なる量の逆戻又は順轉を示している場合、両指標に異なる形で影響を及ぼす逆戻及び又は順轉がもたらされる可能性があります。しかし、特定の商品市場において順轉(又は逆戻)が存在することによって、自動的に「乗換えに伴う収益」がマイナスとなる(又はプラスとなる)ということではありません。潜在的な乗換えに伴う収益が実際に実現するかどうかは、先物曲線の形状に依存しています。「先物曲線」とは、異なる満期を有する先物契約に関し、先物契約の価格間の相関関係をグラフで表したものをおいいます。商品先物曲線の関連する部分が逆戻となっている(右下がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に低くなっている先物価格が相対的に高くなっている(右上がりの先物曲線となっている)場合には、その他の要因が全て同じであるとすれば、相対的に高くなっています。